

学区別意見交換会

令和2年（2020年）5月21日（木）15：00～16：15 岩根まちづくりセンター

出席者：区長 6名、まちづくり協議会役員 4名

市：谷畑市長、萩原副市長、関係課職員

1. 市長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の対応の経緯や現在の状況について。

副市長あいさつ

2. 自己紹介

3. コロナウイルス対策の説明

- ・ 湖西市新型コロナウイルス感染症基本的対応方針第7版抜粋による説明。
- ・ 新しい生活様式

4. コロナウイルスに関する意見交換会（地域での困りごと等）

区長：昨日、評議員会をした。7月26日の河川愛護について、場所を分散して実施する予定。敬老会は正福寺のホールで約70～80名で行うことになるが、余興の依頼などあるため、中止ならば早く答えを出したい。

盆踊り（70名ほど）など取りやめの目安等、市から指導いただければ。

市長：河川愛護は50人を超えても、屋外で密にならずに行っていただければ大丈夫ではないかと思う。ただ、敬老会については、お酒のやりとりや飛沫感染の原因となるので、緊急事態宣言が解除されたとしても、再度感染拡大につながりうるため、よくお考えいただく必要がある。自粛要請については、県知事の権限となるため、51人以上で三密の場合はやめていただきたいとお願いをされている。盆踊りについても同様に密になる場合はよく判断をお願いしたい。

まち協：各まち協のフェアや秋の行事実施の判断の市の方針は。

市長：秋口の行事をどうするか悩ましいところ。学区ごとの懇談会でも、準備があるため、早めに判断をしていかなければならないということで非常に苦慮されてい

る。ウイルスが見えないため、どこまですべきかが悩ましくはあるが、県の示す基準に基づいて、実態に即して判断をしていただきたい。よそのまち協では止める方向であったりする。

まち協：運動会なども悩むところ。

市長：6月から学校が再開する。1週目は給食なしで子ども達を安心させ様子を見る。2週目から通常再開。給食の扱いが難しい。感染を防ぐ給食の提供、学校でも頭を悩ませながら考えているところ。

区長：17時のラジオ体操が高齢者にも好評。5月末までの予定と聞いているが続けてほしい。

市長：高齢者の健康づくりと介護予防を目的としている。
12時は夜勤明け等の苦情もあり、17時にした。当初、苦情もあったが、最近は慣れたこともありなくなった。続けてほしいとの声も聴いている。

区長：声が入っているバージョンで流してほしい。

市長：苦情もあり、声なしにしている。少し考えたい。

まち協：2波が来た時、市内に大きな病院が少なく心配。病院に行くまでにかかりつけの医療機関へ行くように聞かすが、かかりつけ医師がいない場合は。

市長：感染症の対策は県が行う。蔓延防止のための自粛のお願い、隔離など、県に権限がある。

甲賀・湖南市は医師の少ない地域、甲賀病院もあり開業医が育ちにくい環境にあったかと思う。

県と連携しながら、市内に開業医ができるよう進めていきたい。

コロナについては開業医で受付はしない。帰国者・発熱者相談センターに電話連絡することになる。入院は甲賀病院に4床、県内の空き状況も県が把握し、入院先等の確認を行っている。

軽症の人はホテルピアザ琵琶湖を借り上げて、医師と看護師を派遣している。

滋賀県内で患者数も減ってきている。

区長：一斉清掃は春と秋に行っている。片側は河川愛護の補助金、秋は単独実施、補

助してほしい。

市長：河川愛護も本来は県が行うこと。過去から河川愛護のあり方にはご意見をいただいている。県知事と市長間で何度か話している。危険個所の清掃についてもしっかりと県と調整したい。

区長：コロナのイベント開催基準に50人という数字があるが、草刈りなど中止したい旨の相談があるが、外で間隔をあけて行うことは可能としている。施設の面積の都合もあるのではないか。イベントが行える例など市から流してほしい。

市長：感染予防と感染クラスターを防ぐために基準がある。具体例があれば判断しやすいと思うので考えさせてほしい。

区長：当初、区から市に出している要望は施行されないこともあるか。

市長：当初の目的を達成できるのであれば、補助金は執行していただいたと判断する。

区長：ふれあいサロンの計画中、数回はできていない。補助金などはどうなるか。

市長：ふれあいサロンの補助金要綱に基づき、高齢福祉課に検討させる。